



植物用保水性ポリマー

# GA8

GREEN of AQUA 8

水と養分を蓄え植物を頑丈に



●GA8使用なし



●GA8使用あり

## 緑地・公園・植栽管理

水枯れ防止やコスト低減に活躍中！



企業や工場の緑地や植え込み、自治体の管轄する公園や街路樹、住宅の植栽の管理の際に使用することで、水枯れの防止や散水のための人件費削減に貢献します。

## 園芸・ガーデニング

廃棄ロス削減に貢献！



鉢植やポット苗、プランターなどの培土に使用すれば、店頭に置いた植物の水枯れ防止・廃棄ロス削減に役立ちます。

## 競技場・ゴルフ場

芝の根張りを良くし管理コストを低減！

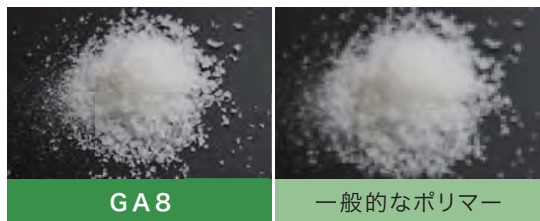


サッカー場、ゴルフ場、校庭などの芝生の管理に使用することで、根張りを良くし、散水コスト低減に役立ちます。



# GA8 はここが違う！

植物育成用の保水ポリマーはGA8以外にも存在しますが、これらは紙おむつや生理用品向けの製品をもとに作られています。GA8は植物のことを考えた独自の製法でつくられているため（現在特許出願中）、一般的なポリマーに比べて優れた特性を持っています。



	<b>GA8</b>	一般的なポリマー
吸水性	◎ <b>適度な吸水性</b> 体積の40倍までゆっくりと吸水根と水の取り合いをしない	△ <b>吸水しすぎる場合がある</b> 体積の百～千倍まで急速に吸水根と水を取り合う可能性も
塩分耐性	◎ <b>肥料の塩分に強い</b> 強い皮膜でおおわれており肥料に含まれる塩分にさらされても機能を保つ	△ <b>肥料の塩分に弱い</b> 肥料と一緒に使用すると塩分の影響で形状が崩れて機能が低下
効果持続	◎ <b>3～5年効果が続く</b> 肥料の塩分に加え圧力に強く土壌で長期間にわたり効果が持続	△ <b>塩分や圧力で機能低下</b> 肥料の塩分や土壌の圧力により液状化して機能が低下していく



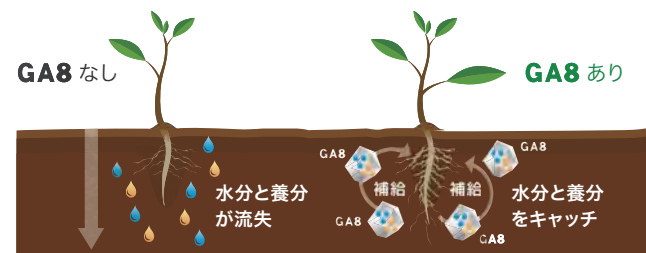
# GA8 は水と養分を蓄えます！

粒状のポリマーのGA8は、土に混ぜて使用すると土壌の水分と養分を蓄えて大きく膨らみます。その結果、土が乾いたときに水分と養分を根に供給して、植物の生育を促進。水分や養分の吸収を繰り返し行ない、土壌環境を最適に保ちます。



# GA8 で手間もコストも削減！

GA8は水分と養分をキャッチし、土壌から流出してしまうことを防ぎます。この働きにより、水やりの頻度と肥料を大きく削減します。



## Q&A

よくあるご質問 ～GA8に関する疑問にお答えします！

### Q GA8を使用できる植物や環境に制限はありますか？

- A**
- ◎土壌で栽培する根のある植物なら、どんな植物でも使用できます。
  - ◎土壌のpH領域や温度、塩分濃度を問わずどんな環境でも使用できます。

### Q 安全性に問題はありますか？

- A**
- ◎人や動物、植物に対して無害です。  
GA8の主成分(ポリアクリルアミド)は食品添加物にも使われるものですので、安心して使用ください。
  - ◎また土壌で微生物によりアンモニアと二酸化炭素にゆっくりと分解される性質を持ちますので、**自然にもやさしい素材**となっています。

### Q 保水性がある分、根腐れの心配があるのでは？

- A**
- ◎根腐れの心配はありません。GA8は土の中で膨らむことで土壌の通気性をよくし、むしろ根腐れの防止に役立ちます。

## GA8の使用法例・提供方法

使用例は以下のとおりです。土質などによる使用量の違いなど、詳細については下記連絡先までお問い合わせください。

### 鉢植の場合

- GA8を土と混ぜ合わせます。
- 鉢に混合土を入れて植物を植えこみます。
- 土をかぶせて十分に水を与えます。

STEP 1 → STEP 2 → STEP 3

土の量に対して**0.3%**を目安に使用します。

### 広い面積での使用の場合

- 10～15cm土を掘削しGA8を混ぜて耕します。
- 植栽後に土を1～5cm被せます。土を被せた後は十分に水を与えます。

STEP 1 → STEP 2

面積1㎡につき約**100～150g**が目安です。

### 植樹の場合

- 植穴の底に使用量の1/4を振りまきます。
- 植栽後残り3/4を土とよく混合して埋め戻します。水を与えます埋め戻した後は十分に水を与えます。

STEP 1 → STEP 2

掘削した土に対して**0.3%**を目安に使用します。

20kg/袋で販売しております。また、少量でのご購入も可能です。用途に応じ、パウダー状に加工したGA8のご提供も可能です。

